



考えることの大切さ

1学期も早いもので、この前新学期が始まったと思っていましたが、1学期の終わりが近づいてきました。

子どもたちは日々授業の中で、話を聞いたり、発表したり、考えをまとめたり、くり返しの練習をしたりして学習しています。しかし、ただ何となく学習していると、学習したことが身につきません。学習するとき、なぜそうなるのか考えて話を聞いたり、理由を付け加えて発表したり、自分がどう考えているのかを書いたりすると、学習したことが自分のものになってきます。児童会や生徒会で全校の児童生徒に呼びかけるときも、自分の言葉で話かけるようにすることが大事だと思います。頭をひねりながら学習したり、言葉に出したりすることが、いろいろな事を身につけるためにはとても大切です。

また、生活面でも、自分はどうしたらよいのか考えることが大切です。友だちがやっているから自分もやるという気持ちになりやすいものですが、それで自分で判断したり、責任を持ってやろうとしたりする力はつかないと思います。

自分で悩みながら決めたことは、結果がどうあれ、気持ちの整理がつきやすく、また、次への意欲がわいてくると思います。

この1学期を振り返って、まとめをしっかりとやり、学習したことが自分の力となっていくよう頑張ってもらいたいと思います。



子どもの頑張りを褒めてあげてください

さて、もうすぐ子どもたちがとても楽しみにしている夏休みに入ります。

学習面や生活面でなかなか目に見える結果が出なかったと、ふり返るご家庭があるかもしれませんが、子どもたちの成長には、体の成長や漢字・計算等のように目に見える成長と、目には見えにくい

内面的な成長があります。そういった「心の育ち」も大切にしつつ、今一度一学期の総合的なふり返りをしていただきたいと思います。そして、通知票も参考としながら、親の目から見ても「頑張ったなあ」と認められることについては、大いに誉めてあげてください。



七夕集会

7月5日（木）に小学部の七夕集会が行われました。
6年の秋葉くんが「しっかりと七夕について学び、楽しみ
ましょう。」と挨拶をして始まりました。

私も七夕について再度調べてみました。

織り姫（琴座のベガと呼ばれる織女星）は縫製の仕事を、彦星（鷲座のアルタイルと呼ばれる牽牛星）は農業の仕事を司る星とされてきたそうです。この二つの星は一年に一度、7月7日に天の川を挟んで最も光り輝くことから、この日を巡り会いの日として七夕のロマンティックなお話が作られたようです。

七夕は中国の行事からきていて、7月7日の織女星（しよくじょせい おりひめ）にあやかり、機織りや縫製が上達するようお祈りする風習が生まれ、やがて、縫製だけでなく芸事や書道、そして現在では様々な願い事をする風習が広がったそうです。笹に願い事を書いて短冊を下げて飾る七夕飾りは、江戸時代に寺子屋で学んでいた寺子達が、習字が上達するようと短冊に書いたのが始まりだそうです。

なぜ短冊を笹に吊すようになったかということ、笹は根強く、風や雪、寒さや暑さにも強い、その生命力と神秘性を兼ね備えていた、また、笹の葉の擦れ合う音は、神様を招くとされていたからだそうです。

2番の歌詞に

♪五色の短冊 ♪わたしが書いた
♪お星様きらきら ♪空からみてる



とありますが、五色の短冊は青＝木、赤＝火、黄＝土、白＝金、黒（紫）＝水を表す五色だそうです。（挨拶で話そうと思ったのですが、クイズで出すので話してはいけないと子どもたちに言われました。）

その後、全員で七夕の歌を歌い、それぞれの学年が願い事を発表し（先生方も）、図書委員の子どもたちが七夕の劇を演じて終了しました。

とても楽しいひとときを過ごせたようです。

勝負の夏休み

中3の皆さんにとっては勝負の夏休みです。
自分の志望校合格に向けて頑張ってもらいたいと思います。

受験に向けて勝利する勉強法は、

- ①志望校に合わせた勉強をしよう。この夏休みに志望校のことについてしっかりと調べてみよう。
 - ②おもしろい勉強法を見つけてやる気を持続させよう。
 - ③基礎をしっかりと身につけよう。
 - ④苦手科目の勉強は毎朝10分間、集中して取り組もう！
 - ⑤長時間のダラダラ勉強より質の良い勉強を心がけよう！
- ぜひ実践してみてください。皆さんの頑張りに期待しています。